

空き家活用 家族葬施設

砺波 川岸、三澤さん開設

砺波市苗加に空き家を活用した家族葬専門の葬祭場が開設された。葬儀会社に

長年勤務した川岸範裕さん(46)と三澤遠さん(27)が起

業した。近年の傾向に加え、コロナ禍で少人数や親族だけ

で葬式を済ませようとするニーズに対応して、家族

葬や1日葬、通夜、葬儀を省いた直葬ができる。市内

に暮らす2人は「自宅で行っていた昔のような温かい葬式を提供したい」と意欲を示す。

葬祭場は「苗加邸」の名称で、市空き家情報バンクを利用して築45年の木造2

階建て、延べ床面積224平方メートルの空き家を購入して

改装した。川岸さんが社長、三澤さんが専務を務め、2

人で司会や納棺など全ての役割を担当する。

市によると、情報バンクに登録された空き家を移住や小売店に利用するケースはある

家族葬専門の葬祭場の開設準備を進める川岸さん(左)と三澤さん

砺波市苗加

が、葬祭場への活用は初めてとしている。

1階に式場や親族控え室、寺院控え室、車椅子対応のトイレ、宿泊用に浴室や洗面室を備える。2階は倉庫に活用する。数人から25人が参列できる。24、25日に内覧会が開かれる。



家族葬専門の葬祭場の開設準備を進める川岸さん(左)と三澤さん
— 砺波市苗加

地域ニュース